

発行 土浦平和の会  
 事務局 土浦市神立町2 6 6 4 2  
 TEL 3 1 9122

## ここまでやる「嚇4ドSS4こノ」に「る」稽方支援嶋危険

自衛隊はすでにここまでやっている合同演習 蓄

周辺有事の判断基準、憲法との整合性の問題、後方支援の範囲、政府・自治体・民間の協力の内容、自衛隊の武力行使の条件など重要な内容が不明のままです。しかし、自衛隊は日米合同演習においてすでにガイドラインを先取りして米軍に対する危険な後方支援の訓練をおこなっています。

### 10月下旬の「艦隊戦闘実験D」

米第7艦隊旗艦ブルーリッジは、母港横須賀からアジア・太平洋地域全域の戦闘を指揮する実験をおこないました。ブルーリッジ艦内に置かれた作戦司令室には全域を映し出すいくつもの大型スクリーンが並び、各地に展開する米軍艦船の位置がすべて示され、「地上攻撃戦闘システム」を使って、朝鮮半島に展開する空母キティホークなどの艦船を指揮しました。在日米軍基地を本部とする作戦が行われる以上、日本が標的になる危険は高いといえます。基地国家日本が、ますます米軍の世界支配の戦略に組み込まれようとしている実態を示しています。そればかりか、米国防総省は「同盟国との共同研究・開発や共同訓練、諸システムの共通性の重視などを通じて相互運用性を促進する」と報告しています。

### 海上補給は前線活動

11月の日米共同統合実動演習（キンソード99）では米空母キティホーク戦闘群8隻と海自イージス艦「みょうこう」など8隻が太平洋上に展開、補給艦Fはまなはミサイル巡洋艦「チャンセラズビルレに対して洋上給油を実施しました。補給艦「はまな」を日米巡洋艦、駆逐艦8隻が車輪状に取り囲んで護衛し、艦載ヘリを飛ばし、P3C哨戒機の支援を受けた。（朝雲）給油活動中の戦闘艦は無防備状態になることから、この護衛は最前線の護衛活動になるわけです。

### AWACSも米軍と一体の情報活動

今年3月に空自浜松基地にAWACS（空中警戒管制機）が配備されました。半径400キロの範囲で戦闘機やミサイルなど多数の目標を識別し、戦闘を指揮、統制する能力を備えています。同機には「統合戦術情報分配システム」というデータ交換装置が取り付けられ、米軍と一体の作戦に参加できるようになっています。

戦争協力法反対土浦連絡会事務局 井上六

### μパックでは

#### 日米共通のデータ受信・表示装置

7月から8月におこなわれた環太平洋合同軍事演習では、海上自衛隊の護衛艦4隻に、敵艦船や航空機の位置や進行方向を表示する最新鋭の「データ受信・表示装置」が設置されされました。まさに米軍と一体になった作戦行動の訓練です。後方支援とは米軍と一体になった戦闘行為そのものです。

### 行事ごよみ

- 12・16 平和の会理事会（1中地区公）
- 12・17 県平和委常任理事会（水戸）
- 1・19 土浦平和の会理事会予定（1中地区公民館）
- 1・22 土浦平和の会新年会予定

### 会費の納入と会員増やし

#### にご協力ください！

土浦平和の会会員はあと1人で70名です。今年度80人を目指しています。会員増やしにご協力ください。会費は中央と県の機関を維持しています。納入にご協力ください。

